

# えくでびあん

8

立川と語ろう 立川に生きよう

AUGUST 2001

EKUTEBIAN Vol.20 No.205



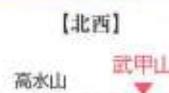
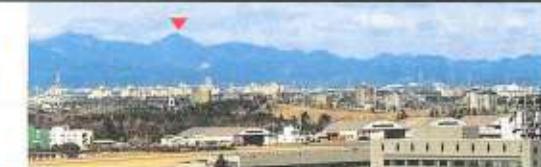
表紙の人 城戸節子（柴崎町）

撮影 綱江英公

# 武甲山

(1295m)

案内人 守屋龍男



[立川高島屋屋上から]

## 身を削り続ける「秩父の顔」

山頂に登って愕然とした。山の半分ほどが無残にも削られ、足元からほぼ垂直に数百メートルほど切れ落ちている。真夏の陽に照らされた非現実的に白い広がりの中を、豆粒のように見える30トンの大型ダンプが蟻のごとく動き回っている。ここはまさしく石灰岩の一大生産地なのである。

秩父の名山武甲山では30年ほど前から本格的な石灰岩の採掘が行われ、現在では頂上の二等三角点まで移転して掘削をしている。このため、山頂の標高は8メートルほど低くなった。

我が身を犠牲にしてまで戦後日本の高度成長を支えたともいえるが、檜や杉の人工林から尾根の唐松やコナラの道、カエデ、ミズナラの自然林も交える堂々たる山を登って出会う光景は、痛ましい。時々鳴るサイレンや発破の音が、武甲山の慟哭のように聞こえてくる。

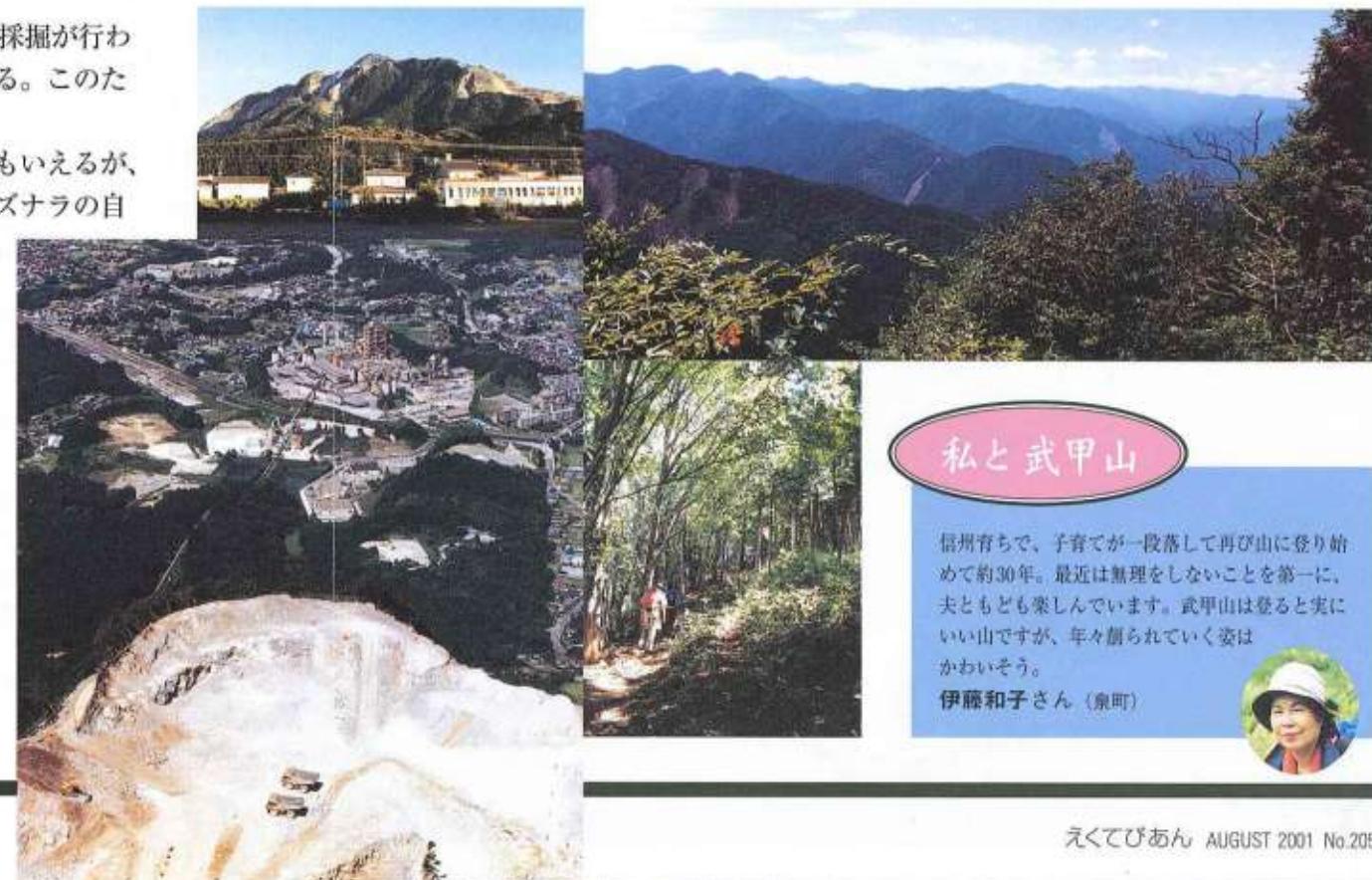
武甲山は立川からは北の方向に見える。青々とした奥武蔵の山並みの上にぽこっと頭を持ち上げている。山名の由来は日本武尊が東征のさい、立派な山容に畏敬の念を抱き自身の兜（甲）を山頂に奉納したという故事からという説と、秩父盆地の人達が「向こう山」と言っていたのに漢字を宛てて「武甲山」になったという説がある。

西の山麓には橋立鍾乳洞や秩父さくら湖（浦山ダム）があり、武甲山登山（指定登山道を通って行く分には危険はない）の帰路に寄っていく人も多い。

### 【行程】

JR立川駅＝青梅線・八高線・西武鉄道秩父線＝橋瀬駅－2時間－生川表参道入口－1時間40分－武甲山頂－2時間40分－橋立鍾乳洞－10分－秩父鉄道浦山口駅＝西武鉄道・JR線で往路を戻る。（歩程 約6時間30分）なお、人数がまとまっていれば橋瀬駅から表参道入口までタクシーを利用した方が良い。（ダンプの多い長い車道歩きを省略できる）

削られた姿は痛々しいが、登れば両神山、南アルプス、赤城、妙義など眺望も素晴らしい。



### 私と武甲山

信州育ちで、子育てが一段落して再び山に登り始めて約30年。最近は無理をしないことを第一に、夫ともども楽しんでいます。武甲山は登ると実にいい山ですが、年々削られていく姿はかわいそう。

伊藤和子さん（東町）



藤城 瞳子さん  
日本泳法教士

日本泳法教士

**菅原** 今田はそのお歳（昭和8年生）でドーバー海峡をあわや往復成功というところまで泳ぎ切った藤城さんにお越しただいて水泳の話をいろいろと伺おうと思つてゐるんですが、そもそも藤城さんは「古式泳法」のご出身なんですよ。

**藤城** ええ。私は鹿児島の出身でしてね敗戦で日本中、モノのない頃、海が近くでしたから遊びでバシヤバシヤ泳ぎのまね事をしてたんです。そうしております

うちに、たまたま入学した女学校にブールがおりまして、それがまた九州一のきれいなスタイル張りで。

啓介 でも、モノのなかつた敗戦直後のことでですから、不如意なことが山ほどあつた時代のことでしょう。

護城 当時の進駐軍が校舎の大方を使つていて、私たちは「二部授業」でしたもの。その頃「ララ物資」というのがありますて、その中にたまたま水着を見つけ

藤城　いい先生がいたんです。絵の先生でしたけど「神統流」の先生なんです。

啓介　神統流？

藤城　日本に12派あるうちの古泳法の一つで、薩摩のものです。私は水泳部に入つてましたけど、主に「横泳ぎ」（今までいう、ノシ）で、クロールも少しやりましたけど。それから段々「ヌキ手」とか「立泳ぎ」を覚えて。

でバシャバシャやつてただけじゃ、単なる水遊びでしょ。

す、水軍ですね。神流派は特に潜って技を見せるんです。一人で泳いでいるんだけど、大勢で攻めてきたように見せるとかね。

哲介 じゃ、今の競泳のようタイムを争うんじゃないんですね。

藤城 古泳法って一種の武道ですから、タイムは問題外です。茶道などと同じよう「品格」というか「気品」が重要なんです。私たちがスイミングを知ったのはマッカーサーが来てからですね。



■藤城聰子（ふじきのふこ）／鹿児島生まれ。幼少より海に親しむ。1957年、上京。1984年、日本水泳連盟第二種公認、水泳指導資格を取得。1984年から現在に至るまで三鷹市特殊赤十字奉仕団、身心障害者児水泳指導を続けている。1985年、日本水泳連盟第二種公認水泳競技授業資格取得。1989年から現在まで、横河スイミングスクールにて水泳流太田派を勉強中。1991年、日本水泳連盟C級スポーツ指導員に移行。1994年、日本泳法「練士」の資格取得。1999年8月ドーバー海峡リレー横断泳成功。2000年8月、日本泳法「教士」資格取得。「立川水泳協会」会長。

■立井啓介（たていけいすけ）／本誌編集人。

だ女性で、もう45歳になつていたのにドーバーを渡るなんて驚いていたんですね。大河内さんは「うちのチームには私が、なんかよりももつと凄い人がいるのよ。もう65歳になろうとしているのにドーバーに立ち向かつていうんですから。藤城さんっていうんですかね」つて、話してくれたがありました。藤城 それも大河内さんたちのおかげなんです。引っぱつていってくれる人がいなければ、とても一人では続きません。ドーバーやろうなんて気も起きなかつたでしょうね。

啓介 お二人とも「立川水泳協会」のメンバーですが、なかなかユニークな協会ですね。

藤城 皆さん、とてもなごやかで。ドーバーは6人がチームを組んで、リレー式に泳ぐんですけど、誰が欠けてもダメで、やはりチームワークですね。

啓介 そういう場合には古泳法はやらないと思うんですが、今でも続いているんですか。

横浜で行われたんですが、あの時にはアメリカがクロールで、日本が横泳ぎで日本が勝つたって聞いたことがありますけれど。

啓介 日本泳法には柔道とか圍碁将棋の  
ような「段」みたいなものはあるんですか

藤城 初めは「級」、それから「段」で  
すね。正式には資格審査があつて、「遊  
士」「練士」「教士」「範士」と統くんで  
すが、急には飛べないんです。「教士」を  
いただいてから何年かたつて次の資格が  
受けられるわけです。

啓介 で、藤城さんはいま「何士」ですか

藤城 去年の夏にようやく「教士」をい  
ただきました。

啓介 じゃ、最高の「範士」までもうす  
ぐですね。

藤城 いえ、いえ。これがまた遠い道の  
りなんですね。

啓介 はあ、そんなものですか。なにし  
ろ、泳ぎを通しての美学、あるいは哲学  
という境地なんでしょうね。

藤城 若い時、先生から「体、水に和す」

**藤城** 13度です。皆さん、驚かれるんですけど、練習の時の方がもっと辛かったですよ。何しろ練習は雪の中でも海へ入るんですからね。

**啓介** 女性は皮下脂肪が多いんで、もうんですかね。

**藤城** ある時、あんまり寒いんで仲間に「あなた、寒くないの?」って聞いたんです。そうしたら「寒いわヨ!」って。口に出さずにこらえていたんですね。

**啓介** 藤城さんのドーバーは世界記録でしょう、年齢という点で。

**藤城** 最初はね「泳げたらギネスブックよ」なんておだてられてたんですけど、1ヶ月ちがいでアメリカの女性がおられたんです。ギネス入りはお流れでした。

**啓介** この話伺おうと思つて、ご都合のいい日をお訊ねいたら「ちょっと待つてください、いま手帖見ますから」って。そのお歳でそんなに忙しい人おられませんよ、世間には。

**藤城** たまたま、ですよう。

**啓介** ララ物資から津軽海峡まで。「人



**啓介** あの古橋廣之進。「富士山の飛魚」の異名をとった。

**藤城** 競泳の方にいったのは、古橋さんたちがよく、骨休めにプールに来てくれるんだよ。

す、水軍ですね。神流派は特に潜って技を見せるんです。一人で泳いでいるんだけど、大勢で攻めてきたように見せるとかね。

たんですね。それまでは自分で作った手作りのシユミーズみたいので泳いでましたので、お母さんにこれ欲しいって云つたら快く手に入れてくれたんです。ララ物資というのは各家庭に50点なら50点配られて食糧とか衣類に替えてもらうんですけど、水着が7点くらいしましたかね。その分、粉ミルクとか卵が減るわけで、よく母が許してくれたもんですね。一番の贈り物でした。

をやつた方がいいだろうって。あの頃が懐かしいですね。練習が終わると一本5円のアイスキャンデーをご馳走になつたり。

# 女流、夏を彫る

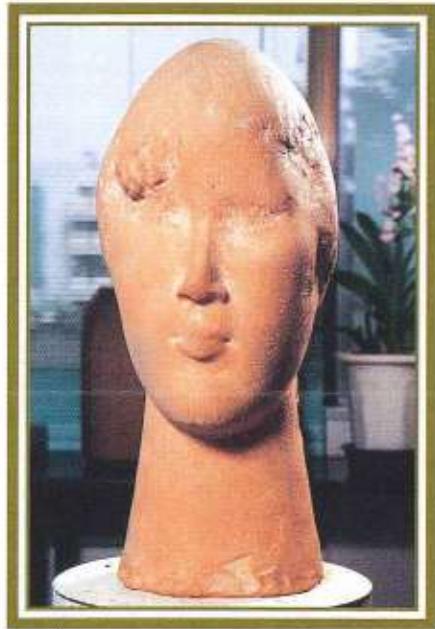
暑い日々がつづくが、アーティストはこの炎天に輪をかけて、  
そのころは更に燃えている。とくに、彫刻家の眼は鋭く光り、  
デッサンから始まり完成に至るまで気の遠くなるようなエネルギーを注ぎ、  
ようやく「作品」の態を成す孤独な営みとなる。

それ故であろうか、今月ご登場いただいた女流は揃って「自刻像」を大切にしておられる。  
まず、己れと向き合うことによって、作家性を確立してゆくのであろうか。



新國美津 Nikkuni Mitsu  
(富士見町)

昭和5年、北海道に生まれる。新制作協会、本郷新を師として作品制作に励んできた。全道展会員。福島県展招待。福島県会津若松、本郷大橋に設置された作品「星」は文化の象徴として多くの人々に親しまれている。



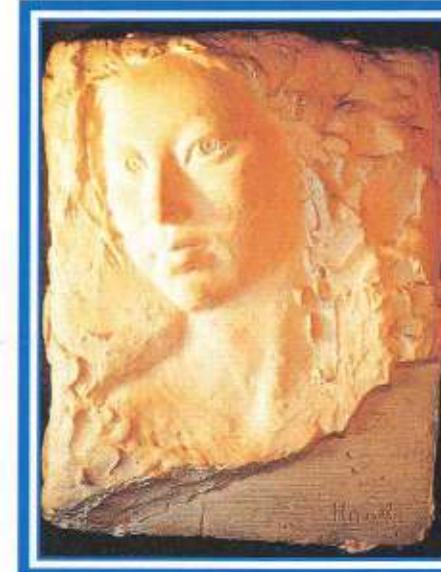
◆ 新國美津・自刻像 ◆



◆ 福島県会津若松・本郷大橋の「星」◆



吉岡ひろの道具箱



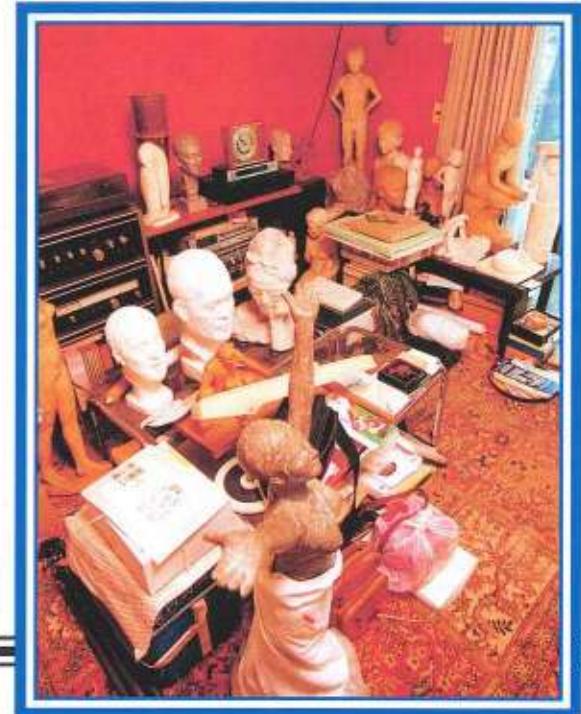
◆ 吉岡ひろ・自刻像 ◆



◆ 作品『母』◆



後進の指導にあたる



応接間は作品室と  
様がわり



吉岡ひろ Yoshioka Hiro  
(錦町)

昭和7年、仙台市に生まれる。木彫家・翁朝盛に入門。後、塑像の木内克のアトリエに通う。自由美術を経て創型会に入る。創型展にて文部大臣奨励賞など多数。ウィル50人展、三多摩美術家連盟審査員。

表紙の人 城戸節子さん  
(柴崎町)

レザーハンドバック作家。  
小学1年生の時に立川第一小学校へ転校して以来の立川っ子。  
フラワーデザイン、木目込人形、貼り絵など多くの手工芸を手がけてきた末にたどり着いたのがレザーハンドバックだった。伝統をふまながらも今日的に洗練された作品を個展は3年に1度。最初の1年は注文を受けた製作に費やし、次の年は充電期間、3年目で新作に挑むという、ゆったりと充実したベース。  
国際ソロブチミスト立川の会長を97年から98年までつとめた。  
(於・根川源流/撮影・細江英公)

## 東風

あつという間の梅雨であった。連日の炎天で「お暑いですねえ」の声がそこそこから聞こえる。口に出しても詫ないことは万人が先刻ご承知だが、全くのはなし、言ふまいと思へど今日の暑さかな、である。それでも東京都では30度度収まっているが、世界の記録では50度を超えた土地がある、たしかアラビアの方であったと思う。自分が不幸だと思った時は、もっと不幸だとみえる人を念えの例えで懲めるしかない◆この暑さで大変だろうが、田中清さんにも型染版画の世界を連載していくことになった。この暑さで、と書いたのは作品から察せられるよりもはるかに大変な作業の積み重ねで、こういう労作を小さな写真でお見せするのは、作者は不満であろう。不満であろうが、顔色ひとつ変えずに連載の承諾をして下さった、作家の度量であろう◆久田早苗さんが、フランスからチーズの熟成士を賜った。新しく出来たお店の地下室にはいくつかの熟成室があって、ひとつひとつのチーズに関して、まるでわが子のように接している早苗さんを見ると、なるほど凡百のチーズ屋とワケがちがうなと感じた。眼力のいる仕事だが、その内側には「志」がある。その熟度はチーズを溶かしそうだ◆炎天にひと花咲けよ えてくびあん

【第三次 えくてびあん同人】  
編集 大久保清志/小林康史/杉山清純/  
芳賀敏博/山田五郎  
デザイン 池田隆男/AMNET DF  
写 真 中村伸/五味幸平

えくてびあん® 8月号  
第19巻 通巻205号  
平成13年8月1日発行

発行 えくてびあん編集工房  
〒190-0012  
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F  
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065

編集人 立井啓介  
発行人 濑尾勤三  
印刷 (株)大廣社

無断複数は禁じます。

## Topics トピックス

### 女性初のチーズ熟成士誕生



### イラストレーター辻本仁氏の遺作展しめやかに

【男性 社会文化功労賞受賞  
久田早苗氏 チーズ熟成士取得 記念祝賀会】

柴崎町在住のイラストレーター、辻本仁氏が急逝。その遺作展が「朝日ギャラリー」(駅ビル、ルミネ9F)で開かれた。

辻本氏は1961年生まれ。高校時代から絵画の道に興味をもち、立川美術学校、阿佐ヶ谷美術学院を経てより、イラストレーター横山明氏の事務所に所属した。この頃より本格的に立川に根をはり創作活動に励んできた。1989年、COMUNICATION ART大賞をEDITORIAL部門にて受賞し、たゆまぬ研鑽によってクリエイターとして基盤を築いてきた。

フランス料理がすっかり地についてきた感のある日本で、チーズも日々に入気を増してきている。

この度、久田早苗さん(栄町)がチーズの世界での勲章ともいいく「ギルド・デ・フロマージュ」を受章。その祝賀会が6月9日に「パレスホテル立川」で開かれた。

この称号は日本では、チーズの「熟成士」と呼ばれ、日本初の受賞とあって関係者が百名以上集まり祝意を表した。久田さんは夫君・寿男氏と共に「チーズ王国」を16年前から始め、いまや都内各所に17店舗を構える企業に成長したが、当初からチーズそのものの品質管理に力を注いできた。本場フランスなどでの修業が穂々たる祝賀会の模様は本誌の来月号で詳しく掲載させていただく予定になっている。



### CAKE STUDIO 35



真味百撰

52

色とりどりのケーキは甘さ控えめ  
世界にひとつしかない  
オーダーケーキはいかが?



オレンジゼリー(写真) 300円  
新作ケーキ カフェ・オーレ 300円  
カシムース・赤すぐり 280円



静岡生まれの杉村時男さんは、夢と創造性溢れる洋菓子の世界に魅せられ、ケーキ職人の道を歩み始める。都内の店で修業の後、昭和58年に独立、ついに羽衣町に自分の店を開いた。爾来、素材そのままの味を大切に、添加物を使用しない現在のスタイルに行き着き、着実にファンを増やしている。食材が、年間を通して提供されるのは少し不自然なこと。青森のりんご農家から、適度な酸味が特徴の品種・紅玉を産地直送したりと素材の旬を逃さず提供できるよう心がける。このりんごを使った特製アップルパイは、10月末から4月初旬までと期間限定の商品だ。

ケーキ作りの魅力は何といつても、お客様の悦ぶ顔にある。殊に、注文通りに仕上げられた創作ケーキを店頭でお見せした瞬間、注文主の顔に現れる驚き、眼の輝きが杉村さんに与えられる最高の賛辞だ。職人としての悦びがここにある。

## ゴロさんの独断毒語

25

## 鍵

見事というほど鮮やかではありませんでした  
が、とともにかくにも、大学の入学試験には通りました。近頃の学生が自分の大学へ行くのに、学校へ行ってくる。  
「大學」であって、断じて学校ではない。学生であつて、生徒ではない。  
ところで、上智大学は妙なところがあつて教室の中から鍵が掛かるようになつてゐています。  
特に語学の大半は神父さまが教えておられましたが、定刻になると内側からビシャリと鍵を掛けてしまつて金輪際、開けてくれません。一分遅れても、三十秒遅れても言い訳は成立しないのです。

第一線での活躍のかたわら、ボランティアとして美術教室にての指導も高く評価されていた矢先の胃ガンであった。合掌。

神父という職業はよほどパンクチュアルに慣れているのか、定刻前から始業を今か今かと待っているのです。ドイツ人の神父から聞いたのですが、人間の集中力は35分が限界なんですつてね。大学の一時間は45分でしたが、残りの10分は余裕みたいなもので、35分が集中できる限界だそうです。そのかわり、時間内は何もかも忘れて一心になれと励まされたものです。テレビジョンを終日観てゐるなんてのは、あれは見てゐるのではなく、眺めているから可能というわけです。

若い日の習慣は身につくものらしく、集中している時は電話が掛かってきて一向に気にならないません、出ません。集中できない時は35分だ

りません、出ません。集中できない時は35分だ

りません、出ません。集中できない時は35分だ

りません、出ません。集中できない時は35分だ

思ひ出があります。北八ヶ岳の白樺尾根に大学の山小舎がある。「ソフィア・ヒュッテ」といつて、岳人あこがれの的で、あの小舎を使いたいが故に入学した莫迦がいたほどでした。

山小舎はドイツ人神父の設計で、無垢の木材を積み上げた、日本風にいうと校倉造りのよう

で、八ヶ岳の原生林の中にボツネンと建つてありました。少し高みに仮造りのチャペルがあり、白樺の皮で型どったマリア様が描かれておりました。

わたしはこの小舎に幾度通つたことでしょう。何しろ、年間百八十日も山に入つていた頃の話です。わたしは「登山家」とは少し趣がちがつて、山に登る、というよりも山に「入る」という方が近かつたようです。山で「静謐」といいう言葉をおぼえました。

ソフィア・ヒュッテは無人小舎なので、大学から鍵を借りていなければなりません。借り

ること頻繁だったので、大学はわたしに別製の鍵をくれたのであった。以降、断りなく使用することが出来たのです。あれから、幾星霜。

先日、その鍵が引出しから出てきました。返しにゆこうかな。(やまだごらう・詩人)

大切なお客様をもてなす宴会の意。「詩経」の中に、賓客を接待するときの詩「鹿鳴編」がある。宴会の席上でこの詩を歌うことから、アビールする目的で建てられた「鹿鳴館」は、この故事によつて名付けられた。

鹿鳴之宴



「常楽我津」(じょうらくがづ) 放送時間  
スカイパークTV 21ch、マイ・テレビ 84ch  
土曜 午前9時~9時15分  
午後7時15分~7時30分  
再放送/火曜 午前9時~9時15分  
午後7時45分~8時  
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十五年

真如意苑

柴崎町1-2-13 Tel. 527-0115㈹

## 首都圏に拡がるとみん銀行

暮らしに、事業にお役に立つよう努力しています。



とみん銀行

東京駅西銀

デジタルえほん  
メモリーブックにどうぞ…



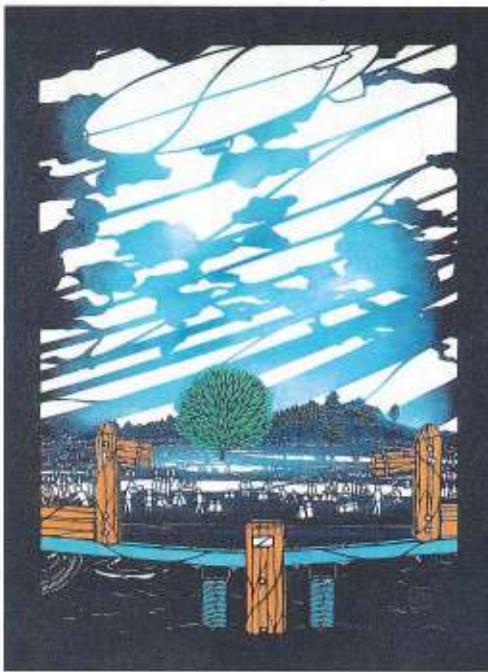
ミッキーや  
キティちゃんと一緒に…!!  
あなたの写真と名前が  
絵本の中に  
入ります。



PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING  
火廣社 ☎ 042-527-1911  
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13  
FAX. 042-527-1949  
E-mail J010521@nifty.ne.jp

# いつも、旅

型染版画家・田中清の世界①



多摩の新景より  
『昭和記念公園』



## 作家経歴

立川市上砂町在住

田中清さん（上砂町）は数奇な運命をたどつて型染版画の世界に没入。爾来、この道一本で通してきたアーティストであります。「えくてびあん」でも靈峰・富士を描いた作品が表紙を飾った号がございました。近年、多摩地方の作品も多く「多摩の新景」として纏められましたが、永年にわたり創作の芯を掴んできた作家といえるでしょう。これから一年間に亘つて田中さんの骨頂ともいえる「旅」をモチーフにして連載させていただきます。（福集子）

- 1947年 兵庫県但馬に生まれる。
- 1966年 京都の染色図案家の内弟子となる。
- 1970年 中央美術学院でデザインを学ぶ。
- 1973年 日本各地を取材し、型染版画の制作に着手。
- 1974年 個展（銀座／越後屋美術サロン）以降、個展、作品展多数。
- 1976年 朝日新聞「野菜畑から」杉浦明平著 撲画連載
- 1980年 型染版画集『つなぎ』刊行。
- 1991年 詩画集（立川／朝日ギャラリー）
- 1997年 「多摩の新景」全32景原画集（朝日ギャラリー）。
- 面集『多摩の新景』刊行。
- 2001年 個展（国立／面館「岳」）。